

地域包括ケアシステムにおける 在宅医療・介護連携支援業務の推進

2



宇陀市の概況



宇陀市(平成29年6月)
人口 31,396人
世帯数 13,051世帯
高齢化率 37.8%
11,882人
(75歳以上率 19.2%)
6,025人

面積 247.62km²
山林が全体の72%宅地4%弱
入院医療機関 2カ所
(宇陀市立病院・辻村病院)
診療所 19カ所
(内 在宅療養支援診療所 1)
歯科診療所 14カ所
(内 在宅療養支援歯科診療所 2)



宇陀市健康福祉部 医療介護あんしんセンター

第6期介護保険料標準月額

奈良県 5, 231円

上位 天川村 8, 686円 (全国1位)

黒滝村 7, 800円 (全国3位)

十津川村 6, 750円

・ ・ ・

宇陀市 6, 600円

下位 御杖村 3, 900円



「健幸都市“ウェルネスシティ宇陀市”構想」

平成26年3月策定

「健幸」をまちづくりの基本に据えた政策を連携しながら実行することにより健康長寿の市を実現する

宇陀市地域包括ケアシステム全体構想

1. 病気の予防
と健康づくり

2. 子どもたちの
体力向上

3. 介護予防と
生きがいづくり

4. 歩きたくなる
仕事が続けられ
る環境づくり

5. とともに支えあう
地域づくり

6. 地域包括ケアシステム
の構築

ウェルネス

宇陀市

宇陀市の在宅医療体制整備の取り組み

24年度

宇陀市立病院

公的医療機関としての役割の明確化

25年度

在宅医療体制の課題を整理

市内在宅医療、介護関係者のアンケート

宇陀市地域医療連携に関する検討会

＜メンバー＞在宅療養支援診療所・市立病院・辻村病院・訪問看護St
・地域包括支援センター・保健センター・健康増進課
県・・・医療政策部・地域包括ケア推進室・桜井保健所

26年度

- ・在宅医療連携拠点の設置に向けての準備
- ・平成26年7月地域包括ケア推進担当職員3名異動
- ・平成27年1月医療介護あんしんセンター準備室設置
- ・在宅医療連携推進事業を開始

27年度

4月宇陀市医療介護あんしんセンター開設

○事業項目と取組例

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握

- ◆ 地域の医療機関の分布、医療機能を把握し、リスト・マップ化
- ◆ 必要に応じて、連携に有用な項目（在宅医療の取組状況、医師の相談対応が可能な日時等）を調査
- ◆ 結果を関係者間で共有



(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援

- ◆ 情報共有シート、地域連携バス等の活用により、医療・介護関係者の情報共有を支援
- ◆ 在宅での看取り、急変時の情報共有にも活用

(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

- ◆ 地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状を把握し、課題の抽出、対応策を検討

(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援

- ◆ 医療・介護関係者の連携を支援するコーディネーターの配置等による、在宅医療・介護連携に関する相談窓口の設置・運営により、連携の取組を支援。

(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

- ◆ 地域の医療・介護関係者の協力を得て、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築を推進

(カ) 医療・介護関係者の研修

- ◆ 地域の医療・介護関係者がグループワーク等を通じ、多職種連携の実際を習得
- ◆ 介護職を対象とした医療関連の研修会を開催等

(キ) 地域住民への普及啓発

- ◆ 地域住民を対象にしたシンポジウム等の開催
- ◆ パンフレット、チラシ、区報、HP等を活用した、在宅医療・介護サービスに関する普及啓発
- ◆ 在宅での看取りについての講演会の開催等



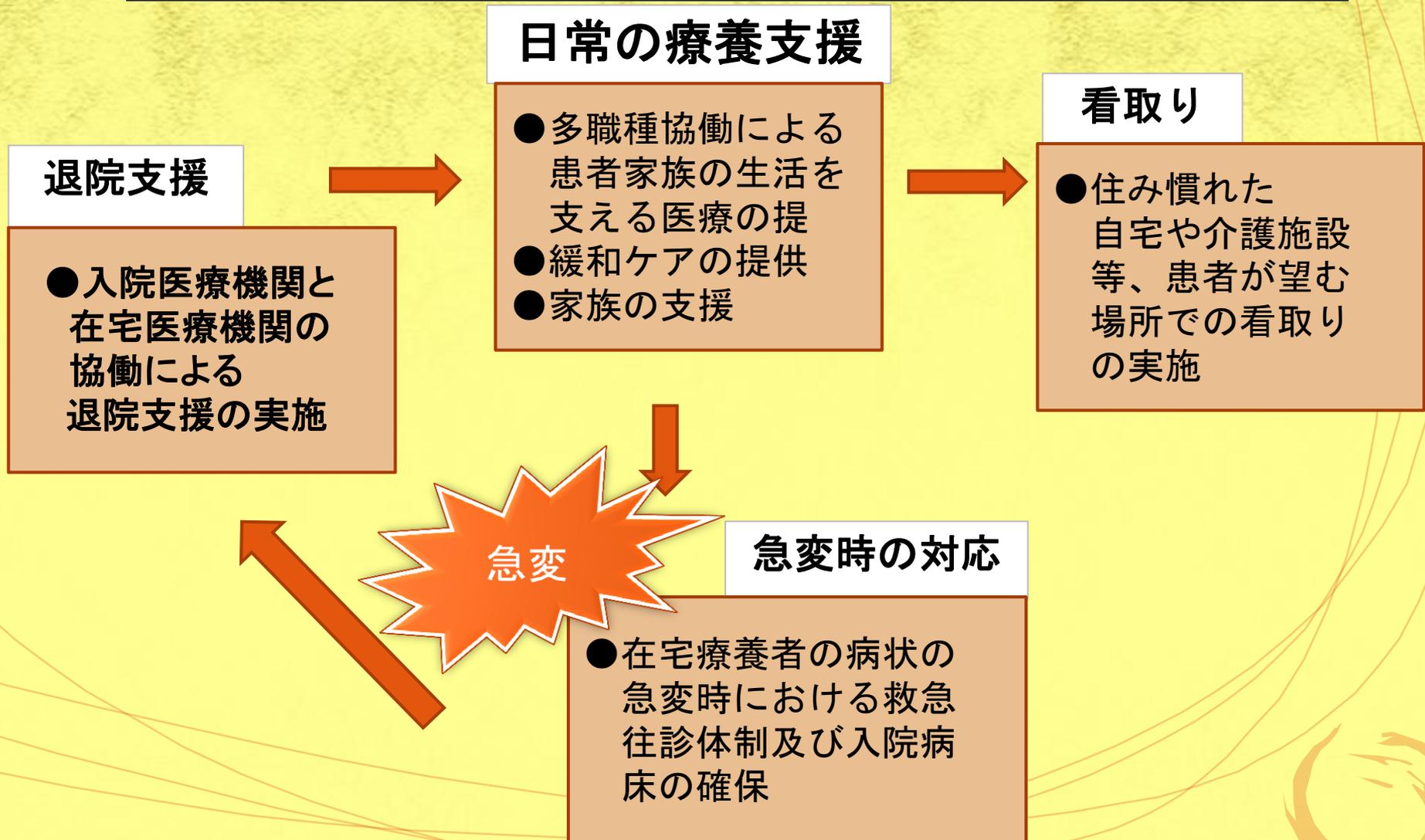
(ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

- ◆ 同一の二次医療圏内にある市区町村や隣接する市区町村等が連携して、広域連携が必要な事項について検討

(イ) 在宅医療・介護連携の 課題の抽出と対応策の検討

◆地域の医療・介護関係者などが参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状を把握し、課題の抽出、対応策を検討

在宅医療体制についての協議



多職種で在宅医療体制の課題を検討 ～宇陀市地域医療連携に関する検討会～

退院支援

平成25年度の課題

<背景>

- 入院期間の短縮（診療報酬改定等）
- 家族機能の低下



医療と介護の
連携

- ◎回復期のリハビリができず機能低下
- ◎在宅医療や在宅介護（生活支援）につ
ながらなくて 混乱

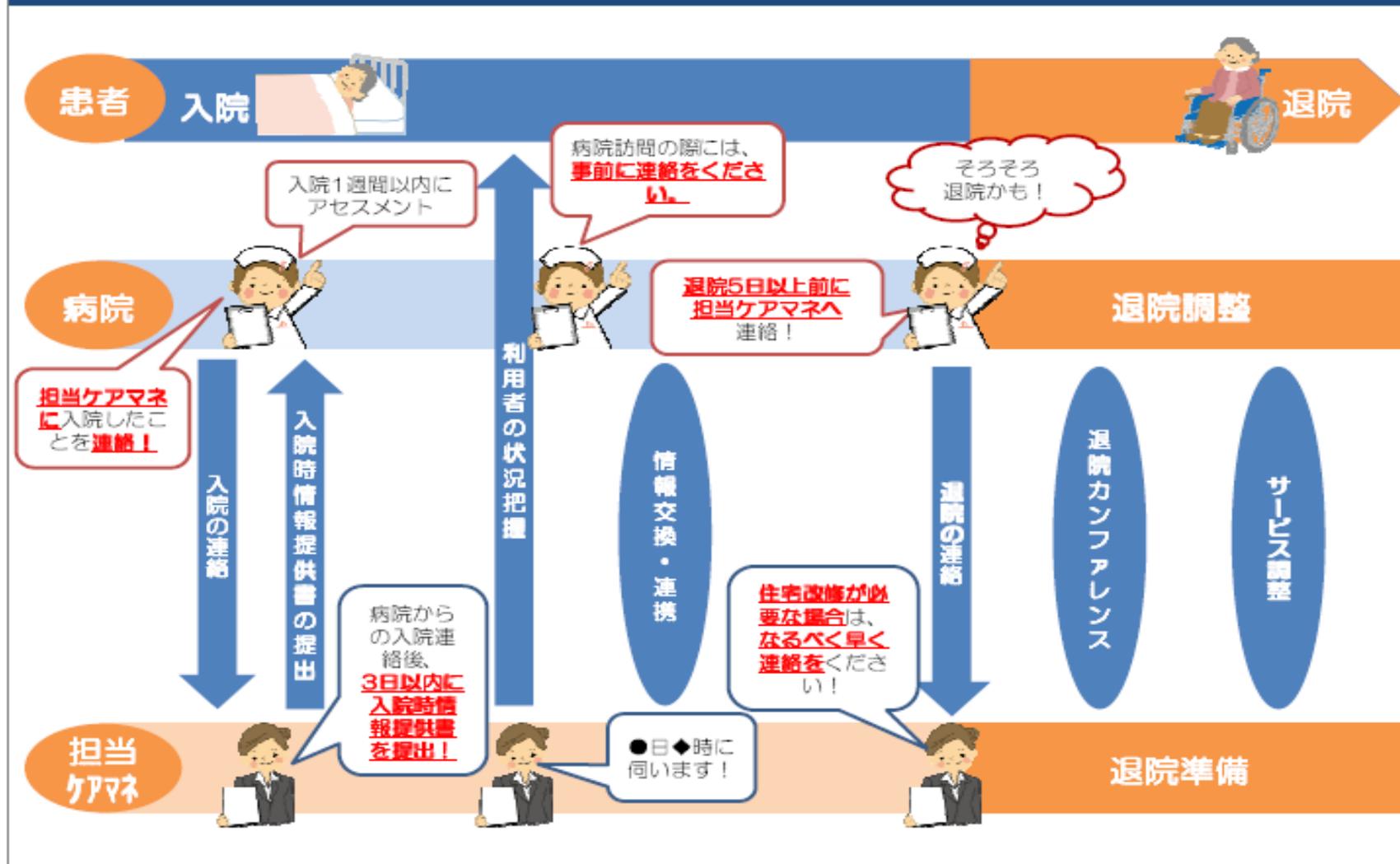
病院と診療所
の連携

退院時カンファ
レンスの開催

東和医療圏域における退院調整マニュアル（退院状況調整実証事業H27～）

⑤入退院調整の流れ（入院前にケアマネジャーが決まっている場合）

■入院前にケアマネジャーが決まっている場合



日常の療養支援

<現状>

- がんの末期 在宅療養者の増加
- 誤嚥性肺炎で入退院を繰り返す
- 家族の負担



- ◎末期がん患者への連携した対応
- ◎機能低下防止（日常のケアの連携）
- ◎レスパイト入院

医薬品の確保

在宅スタッフ
の不安

多職種連携

急変時の対応

＜背景＞公立病院での救急対応 50%

- 病院の医師数の半減
- コンビニ受診の増加
- 在宅診療を実施する医師の不足

市民啓発が必要



- ◎かかりつけ医を持つこと等
- 後方支援病院の役割
- ◎在宅の療養者の緊急時の受入体制

市民の意識

病院と診療所の
連携

(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の 提供体制の構築推進

◆地域の医療機関の協力を得て、在宅医療・介護サービスの提供体制を推進

(エ) 医療・介護関係者の 情報共有の支援

◆医療・介護の情報共有の支援

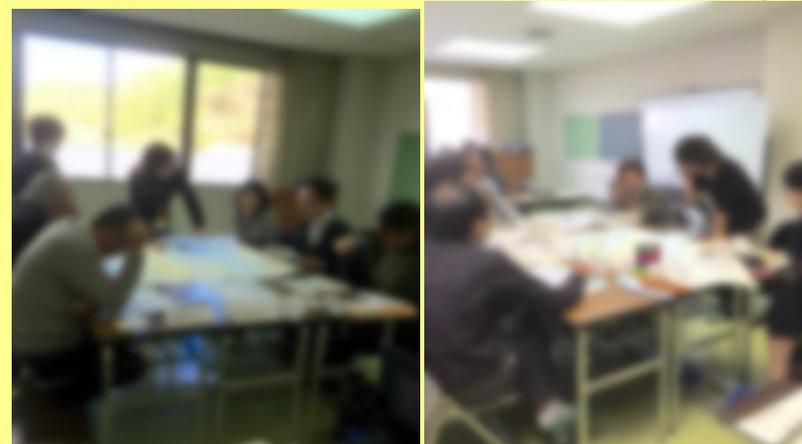
◆在宅での看取り、急変時の情報共有

医療と介護のネットワーク会議

- 「地域医療連携会議」 在宅医療の推進
(かかりつけ医の診療、往診、訪問診療)
- 「認知症ケアパス検討会」



地域医療連携会議



認知症ケアパス検討会



病診連携懇話会 H28. 6 病院－医師会の連携

クリニックから
病院の検査が
簡単に予約でき
たら～



在宅患者の急変
時に病院が受け
れてほしい



地域先生方に信
頼していただい
ける体力ある病院
にしなければ



病院・診療所の連携の課題

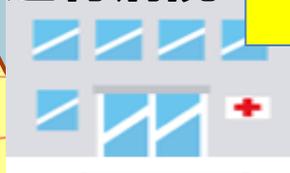
情報連携（ICT）

宇陀市立病院



検査オーダー

辻村病院



【医療連携が必要な分野】

- **認知症**（物忘れ外来・もの忘れ相談・認知症初期集中支援）
- **慢性疾患（糖尿病等）の管理**
 - ・ 合併症の管理
 - ・ 検査入院・治療についての連携
- **在宅医療患者の連携**
 - ・ 摂食障害、誤嚥性肺炎の管理
 - ・ 急変時の受け入れ
 - ・ 退院時の連絡
 - ・ 診療所間の連携（専門分野・在宅

おくすり手帳

服薬管理

開業医



調剤薬局



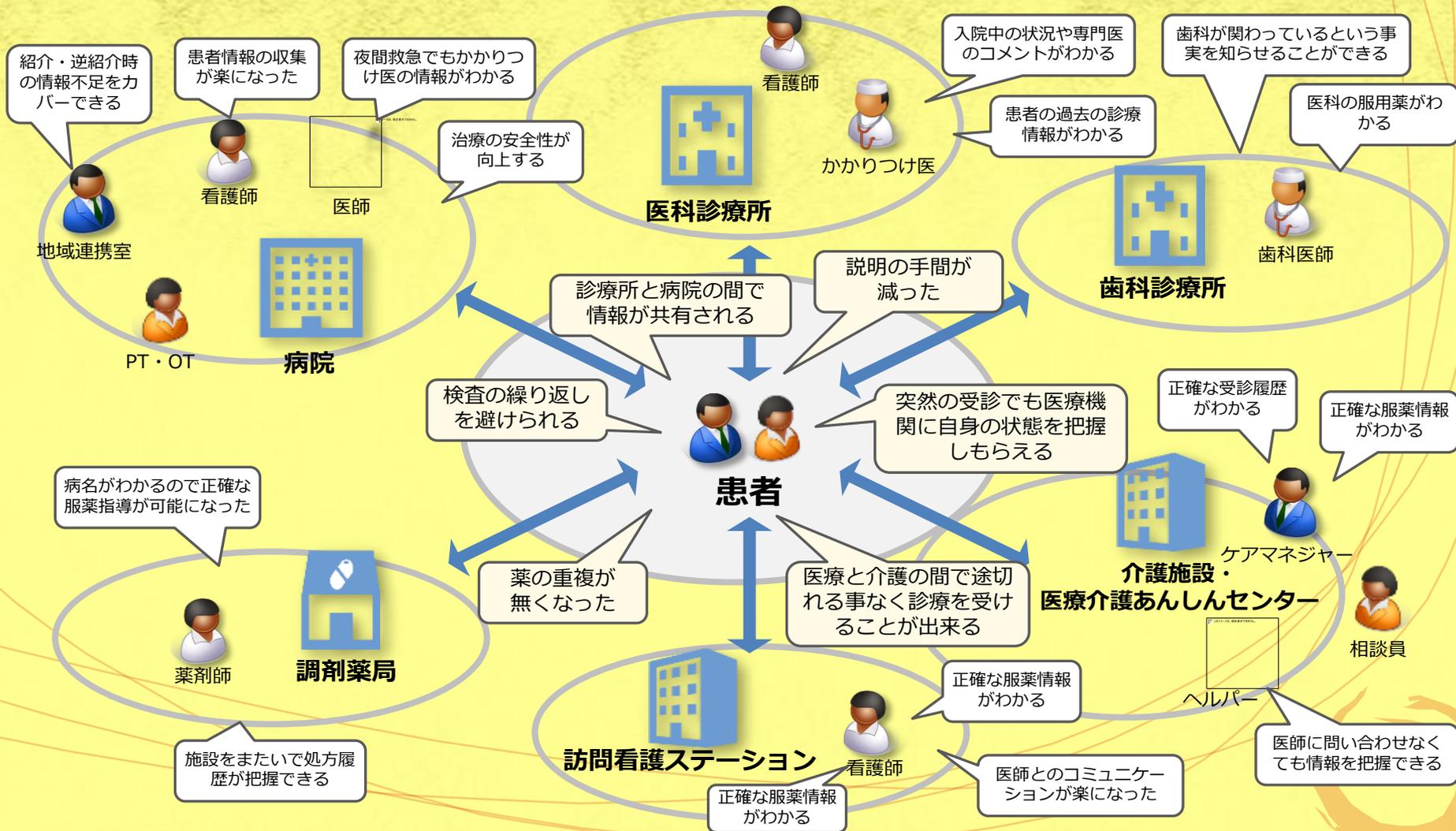
（医療）
訪問看護ス
テーション



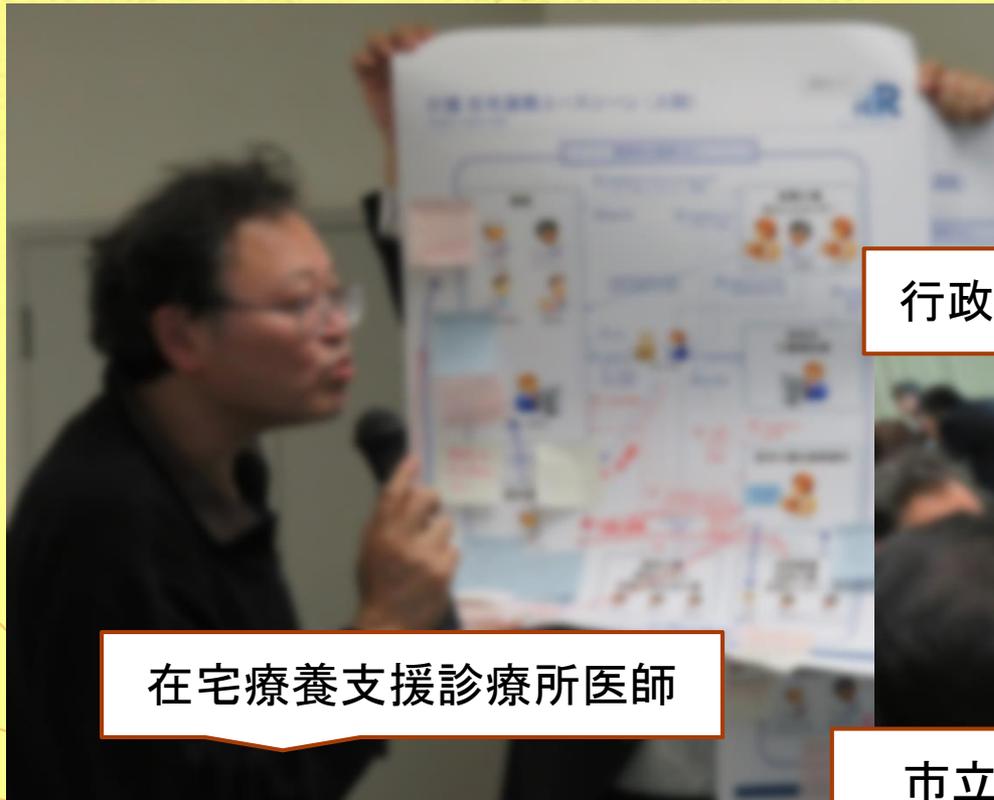
ケアマネージャー・
介護関連事業所



宇陀地区地域医療・介護ICT導入推進事業



宇陀地区地域医療・ 介護ICT導入推進事業



行政・あんしん

ケアマネジャー

在宅療養支援診療所医師



訪問看護師

市立病院

地区医師会

薬剤師

(カ) 医療・介護関係者の研修

- ◆地域の医療・介護関係者がグループワーク等を通じ、多職種連携の実際を習得
- ◆介護職を対象とした医療関連の研修を開催等

医療・介護連携シンポジウムH28.11

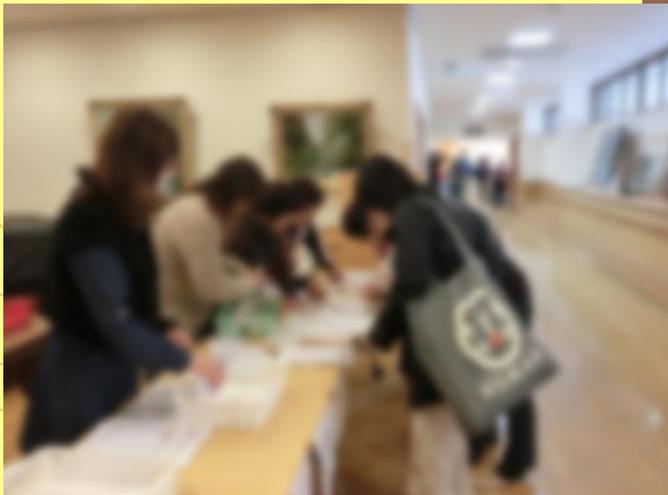


宇陀在宅医療を推進する会メンバー



研修会の企画・運営
市民・専門職のニーズを考えて

在宅療養支援診療所 医師・看護師
訪問看護ステーション
介護支援専門員・施設
医療介護あんしんセンター



ズレを起こさない、人にやさしい動作介助



(才) 在宅医療・介護連携に関する 相談支援



宇陀市医療介護あんしんセンターの業務

医療介護あんしんセンターでは、「地域包括支援センター」の機能と「在宅医療・介護連携支援」の機能を一体的に行います。

地域包括支援センター



在宅医療・介護連携支援

（要支援1・2のケアプラン作成）
介護や健康についての支援

総合相談（在宅医療・介護等）

高齢者の権利を守る事業

地域ケア会議

認知症対策事業

在宅医療・介護関係者の連携・研修

在宅医療・介護の情報把握・発信

市民への普及啓発

医療介護あんしんセンターの職務

介護や
健康のこと



保健師 4名
看護師 3名

保健師等

権利擁護を
守ること



社会福祉士

4名

さまざまな
相談事



主任ケアマネ

4名

在宅医療推進

医療と介護の
多職種連携

平成29年6月現在（14名体制） 資格再計

(キ) 地域住民の普及啓発

- ◆地域住民を対象にしたシンポジウムなどの開催
- ◆パンフレット、ちらし、区報、HP等を活用した、在宅医療・介護サービスに関する普及啓発
- ◆在宅での看取りについての講演会の開催等

市民への啓発



ケーブルテレビ放送
(H26. 12)

宇陀市／医療と介護のガイドブック

1/2 ページ



[ホーム](#) > [健康・福祉](#) > 医療と介護のガイドブック

更新日: 2015年6月1日

医療と介護のガイドブック

宇陀市 医療と介護の ガイドブック



いざというときに、安心して医療が受けられる宇陀市で利用できる
介護福祉サービスなどの社会資源が見つかる！！

ごあいさつ

宇陀市では、重点政策の一つに『健康都市“ウェルネスシティ宇陀市”』を掲げ、市民の誰もが健康で幸せと思えるまちづくりを進めています。宇陀市の高齢化率は34.6%(平成27年1月1日)で、3人に1人以上が65歳以上になりました。ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が増加する中、病気や障害になっても、できる限り住み慣れた我が家や地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」が一体的に提供される『地域包括ケアシステムの構築』が必要とされています。特に、地域医療の充実や、医療と介護サービスを切れ目なく受けることができるための体制整備は重要な課題です。



http://www.city.uda.nara.jp/kaigo/kenkou/kaigo_guidebook/index.html

2015/07/10

地域ケア会議 ～高齢者の暮らしを支える懇話会～

民生委員

食生活改善推進員

自治会長

高齢者が
くらしやす
いまちとは

地区医師会

行政

ボランティア

まちづくり協議会

ケアマネジャー

宇陀市立病院



(ア) 地域の医療・介護の資源の把握

- ◆地域の医療機関の分布、医療機能を把握し、リスト・マップ化
- ◆必要に応じて、連携に有用な項目(在宅医療の取り組み状況、医師の相談可能な日時等)を調査
- ◆結果を関係者間で共有

宇陀市ホームページに掲載

医療と介護のガイドブック

宇陀市 医療と介護の ガイドブック



いざというときに、安心して医療が受けられる宇陀市で利用できる
介護福祉サービスなどの社会資源が見つかる！！

ごあいさつ

宇陀市では、重点政策の一つに『健幸都市“ウェルネスシティ宇陀市”』を掲げ、市民の誰もが健康で幸せと思えるまちづくりを進めています。宇陀市の高齢化率は34.6%(平成27年1月1日)で、3人に1人以上が65歳以上になりました。

ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が増加する中、病気や障害になっても、できる限り住み慣れた我が家や地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」が一体的に提供される『地域包括ケアシステムの構築』が必要とされています。

特に、地域医療の充実や、医療と介護サービスを切れ目なく受けることができるための体制整備は重要な課題です。



平成29年度の事業予定

| 全体構想の柱 | H29年度事業（新規） |
|--|---|
| <p>(1) 介護が必要になっても在宅生活ができるまち ～医療介護の専門職が連携して支える～</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ ICT導入 ・ おくすり手帳の発行 |
| <p>(2) 認知症になっても安心して暮らせるまち</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 行方不明あんしん登録制度 ・ 認知症カフェの検討 |
| <p>(3) 高齢者がいきいきと健康づくりと交流ができるまち</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ いきいき百歳体操の推進 |
| <p>(4) 市民参画・協働で生活を支え合えるまち</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域ケア会議のテーマ「生活支援」 |

宇陀市が新たに始める
在宅医療・介護の連携拠点

宇陀市医療介護 あんしんセンター

いつまでも 自分らしく
住み慣れた自宅や地域で暮らすために



ご相談
ください!

宇陀市



医療介護あんしんセンター

☎ 0745-85-2500

ご清聴ありがとうございました